

自分も友達も大切に

【3年生】いのちのはじまりと赤ちゃんのたんじょうくねらい>

- ・いのちのはじまりに興味をもち、体のつくりや働きとあわせながら生命誕生のしくみを理解する。
- ・胎児の生命力を知ること、いのちの大切さを感じる。



養護教諭がT1です。まずは、体の名称と働きを知る。サケの受精・シマウマの交尾→人間の場合は？



<性交>卵子の中に精子が入り込んだ時が命のはじまり



心と心が交わって、新しい命の誕生になることを学びました。「精子の旅」についても説明がありました。

<精子の旅> 養護教諭の話

3億個の精子が子宮まで8センチの距離を泳ぐ。人間に例えれば、月までの距離を全力走で走り切るようなもの。その途中、右・左の分かれ道の選び方で運命が決まる。(卵子が左右のどちらかしか出ていないため。) 子宮にたどりつける精子は、100個程度。卵子の殻はとてもかたい。精子はみんな協力し合って、頭から酵素を出し合って、殻を溶かす。卵子に入ることができた精子は奇跡の精子。精子が入った卵子は、他の精子を入れさせないために、更にかたい殻をつくる。これを受精という。いのちの誕生です。大きく成長した姿が3年生のみなさん一人一人です。

受精から35日目には5ミリ、80日目には5センチに成長します。

羊水に浮かんでいるのは、衝撃から身を守るためです。指しゃぶりは、おっぱいを吸うための準備です。

頭蓋骨は9枚の骨からできていて、赤ちゃんは生まれるときに、9枚の骨を寄せて、頭を小さくしてワギナを通ります。狭いトンネルを通るために「技」を使います。

<振り返り>

- ・赤ちゃんが280日で生まれるのがすごいと思いました。35日で足や腕ができていたことを知りました。
- ・今、ぼくがいることが奇跡だと思いました。
- ・お母さんががんばったから私がいることがわかりました。誕生日を大切にしたいと思いました。
- ・これからは自分が今ここにいることを大切に思っています。友達も大切にしたいです。
- ・お父さんやお母さんの力を借りて生まれてきたから、命を大切にしたいと思いました。家に帰ったら、お父さんとお母さんにお礼を言いたいと思いました。
- ・赤ちゃんが生まれるには、時間がかかることがわかりました。
- ・わかったことは、赤ちゃんはおなかの中で勉強をして成長していくということです。不思議に思ったことは、精子を卵子に渡すとき、空気に触れないで渡すということです。

- ・おなかから生まれるときは、お母さんの力だけではなく、自分でも外へ出ようとすることを知りました。
- ・自分の命も他の人たちのお父さんとお母さんが生んだ命も大切にしようと思いました。

【6年生】

6年生は助産師さんによる「思春期講座」を受けました。体の成長は自然にやってきますが、心の成長が追いつかないこともあります。保護者の皆さんの感想の中に答えがあるように思います。

- 子どもと何でも話のできる関係でいること
- 子どもの様子をよく見て、必要に応じて声かけをすること
- 子どもの質問に本音で話すこと・・・

かけがえのない命について、家族で話題にしてみてもいかがでしょうか。

小中一貫の日

インフルエンザの流行により、内容を変更して行いました。31年度から白山中區で15歳の生徒像を目指し、9年間を通じた教育を実施していきます。

【体育館で生徒会長さんの話を聞く】



【SGE】無言で誕生日順に並ぶ・サイコロトーク



- ① 一番楽しかったこと
- ② 部活動
- ③ 好きな教科
- ④ 白山のすごい所
- ⑤ 好きな給食
- ⑥ 小中の違い (SGE:人間関係づくりの手法)